



2026 年 7 月 14 日

各 位

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス

代表取締役社長 CEO 川井 潤

(コード番号：3387 東証プライム)

問い合わせ先 取締役 CFO 大内 源太

電話 03-5488-8022

合併により上場廃止となった S F P ホールディングス株式会社に関する決算開示のお知らせ

2026 年 7 月 1 日付の合併により、2026 年 6 月 29 日をもって上場廃止となった S F P ホールディングス株式会社に関する 2027 年 2 月期第 1 四半期決算の内容を、添付のとおりお知らせいたします。

(添付)

・ S F P ホールディングス株式会社 2027 年 2 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

以 上

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月14日

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所 ー
 コード番号 ー URL <https://www.sfpdining.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 木村 哲博 (TEL) 044 (750) 7154
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績 (2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	7,962	2.7	472	△20.4	557	△7.0	326	△16.0
2026年2月期第1四半期	7,751	1.0	593	△2.6	599	△10.6	389	△18.5

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 326百万円(△14.6%) 2026年2月期第1四半期 382百万円(△20.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	14.34	ー
2026年2月期第1四半期	17.08	ー

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	13,748	9,189	66.8
2026年2月期	13,512	9,181	68.0

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 9,189百万円 2026年2月期 9,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	ー	14.00	ー	14.00	28.00
2027年2月期	ー				
2027年2月期(予想)					

(注) 当社は、2026年6月29日付で上場廃止となったため、2027年2月期の配当予想については記載しておりません。

3. 2027年2月期の連結業績予想 (2026年3月1日～2027年2月28日)

当社は、2026年6月29日付で上場廃止となったため、2027年2月期の業績予想については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期1Q	22,813,689株	2026年2月期	22,813,689株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年2月期1Q	10,552株	2026年2月期	10,552株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年2月期1Q	22,803,137株	2026年2月期1Q	22,800,404株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化の影響による原材料及びエネルギー価格の高騰、物価上昇の継続による個人消費への影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、春休みや歓送迎会需要、大型連休需要に加え、インバウンド需要の取り込みや各種販促施策の効果もあり、売上高、客数・客単価ともに前年を上回る水準で堅調に推移いたしました。一方で、原材料価格や人件費、エネルギーコストの上昇など、事業運営を取り巻くコスト環境は引き続き厳しく、物価上昇を背景とした消費者の節約志向も継続しております。

当社が主に展開する居酒屋業態におきましては、歓送迎会需要や大型連休需要を背景に、中小規模の宴会利用などが堅調で、売上高、客数ともに前年を上回る水準で推移しております。一方で、法人宴会需要の回復には業態間ではばらつきが見られるほか、価格改定後の消費行動の変化や節約志向の継続など、先行きについては引き続き注視が必要な状況にあります。

このような状況の中で当社グループは、引き続き固定費の増加抑制に努めるとともに、食材価格の高騰を踏まえたメニュー改定や弾力的な価格設定、臨機応変な営業時間の見直し、人材採用の積極化など、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。また、出店戦略においては、小型かつ低投資の大衆酒場業態の開発・出店を継続するとともに、地方都市での出店にも注力しております。

鳥良事業部門においては、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は34店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,461百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

磯丸事業部門においては、直営の「磯丸水産」3店舗を「磯丸酒場」へ、「磯丸水産」2店舗を「鳥平ちゃん」及び「鉄板ホルモン五の五」へ業態転換したほか、「磯丸水産」を1店舗退店し、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営97店舗、フランチャイズ20店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,386百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

その他部門においては、「五の五」を1店舗出店したほか、「鳥平ちゃん」及び「鉄板ホルモン五の五」各1店舗を「磯丸水産」から業態転換し、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は41店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,523百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社ジョー・スマイルが「前川水軍」を1店舗退店いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが12店舗、株式会社クルークダイニングが13店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は591百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は、直営197店舗、フランチャイズ20店舗となり、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,962百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は472百万円（前年同期比20.4%減）、経常利益は557百万円（前年同期比7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は326百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ236百万円増加し、13,748百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、6,295百万円となりました。これは主に、現金及び預金が72百万円、売掛金が218百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、7,452百万円となりました。これは主に、有形固定資産が24百万円増加した一方で、投資その他の資産が33百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ232百万円増加し、3,402百万円となりました。これは主に、未払法人税等が80百万円減少した一方で、買掛金が112百万円、未払消費税等の増加によりその他が242百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、1,157百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が4百万円増加した一方で、長期借入金が2百万円、資産除去債務が2百万円、長期前受収益の減少によりその他が1百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、9,189百万円となりました。これは主に、利益剰余金が7百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年6月29日付で上場廃止となったため、2027年2月期の業績予想については記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,310,104	4,382,954
売掛金	992,003	1,210,854
原材料及び貯蔵品	151,934	131,361
その他	590,057	570,659
流動資産合計	6,044,098	6,295,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,236,433	8,137,007
減価償却累計額	△5,147,724	△5,083,389
建物及び構築物（純額）	3,088,708	3,053,618
土地	11,570	11,570
建設仮勘定	16,489	75,298
その他	1,855,453	1,853,315
減価償却累計額	△1,578,782	△1,576,151
その他（純額）	276,670	277,163
有形固定資産合計	3,393,438	3,417,651
無形固定資産		
のれん	230,691	225,672
その他	34,379	32,932
無形固定資産合計	265,070	258,605
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,980,010	2,979,135
その他	829,860	797,579
投資その他の資産合計	3,809,870	3,776,714
固定資産合計	7,468,380	7,452,971
資産合計	13,512,479	13,748,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	815,498	928,024
1年内返済予定の長期借入金	60,508	60,008
未払法人税等	231,634	150,762
賞与引当金	90,729	120,402
株主優待引当金	120,005	66,508
店舗閉鎖損失引当金	9,625	4,381
資産除去債務	21,823	8,897
その他	1,820,600	2,063,446
流動負債合計	3,170,425	3,402,430
固定負債		
長期借入金	24,146	21,644
退職給付に係る負債	348,014	352,273
資産除去債務	706,411	703,591
その他	81,484	79,670
固定負債合計	1,160,055	1,157,180
負債合計	4,330,481	4,559,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,340	49,340
資本剰余金	506,052	506,052
利益剰余金	8,644,484	8,652,177
自己株式	△19,883	△19,883
株主資本合計	9,179,993	9,187,686
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2,004	1,503
その他の包括利益累計額合計	2,004	1,503
純資産合計	9,181,997	9,189,190
負債純資産合計	13,512,479	13,748,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	7,751,221	7,962,855
売上原価	2,337,671	2,385,103
売上総利益	5,413,549	5,577,751
販売費及び一般管理費	4,819,697	5,104,842
営業利益	593,852	472,909
営業外収益		
受取賃貸料	1,050	1,050
受取立退料	—	※2 36,000
協賛金収入	29,666	31,588
持分法による投資利益	515	1,188
その他	11,837	20,271
営業外収益合計	43,069	90,098
営業外費用		
支払利息	2,036	199
不動産賃貸原価	765	765
過年度消費税等	※1 18,558	—
租税公課	—	2,574
その他	16,505	2,457
営業外費用合計	37,865	5,997
経常利益	599,056	557,009
特別損失		
固定資産除却損	386	0
減損損失	3,507	43,387
店舗閉鎖損失引当金繰入額	860	4,381
特別損失合計	4,754	47,768
税金等調整前四半期純利益	594,302	509,241
法人税、住民税及び事業税	173,743	150,761
法人税等調整額	31,156	31,542
法人税等合計	204,900	182,304
四半期純利益	389,401	326,937
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,401	326,937

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	389,401	326,937
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△7,312	△501
その他の包括利益合計	△7,312	△501
四半期包括利益	382,089	326,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,089	326,436
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 過年度消費税等の内容は、見積税額と納付税額との差額です。

※2 受取立退料の内容は、当社の子会社が出店する店舗物件の立退要請によるものです。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	136,463千円	147,353千円
のれんの償却額	5,018千円	5,018千円